

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

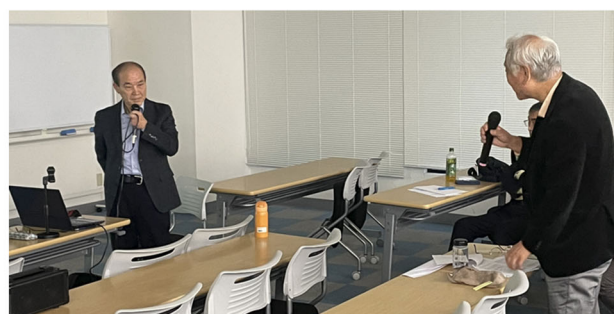
開始日時	2024 年 11 月 2 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2024 年 11 月 2 日 (土)	16 時 30 分
名称	第 139 回 CPD 専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	加瀬の貸し会議室千葉中央ホール第一会議室 講演+ZOOMリモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 志澤達司副支部長 2. 講演者紹介 長江進技術士 3. 講演 「新しい公用文を考慮に入れた技術文書の作成方法」 講師：小波 盛佳先生 (鹿児島大学非常勤講師、千葉県支部教育支援委員会委員長、日本創造学会研究倫理委員長、技術士(機械部門)、博士(工学))	
参加人数	会場出席者19名、リモート講演出席者42名、合計61名	

講演概要： <企画委員会と技術者教育支援委員会の合同開催>

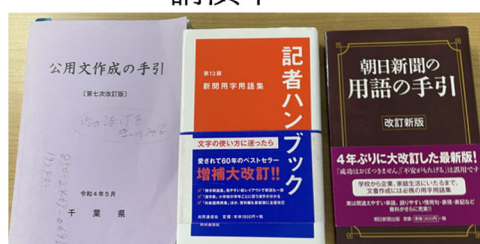
2022 年 1 月、70 年ぶりに各府省庁等の文書作成のための「公用文作成の考え方」が出された。講演では、その中で示されている、分かりやすく効果的な公文書作成の考え方が説明された。例えば、読点の(、)と(、)の扱いの変更、「3 か月/三箇月」といった表記法や、「文語の名残の表現」「タイトルの付け方」など、伝わりやすくするための工夫が説明された。また、「公用文では「および」を「及び」と漢字表記する」といった一般文、報道文との違いがある。公用文の作成法を技術文書作成にどう適用するかなど、講演者の考え方を述べていただいた。他に、自身の技術文書セミナーの抜粋資料を提示して説明された。質疑応答では略語の使用に関する質問や、公文書において片括弧を使用することは可能であるかといった質問が聴講者からあり、講演者に回答していただいた。



講演中



質疑応答



ご紹介いただいた書籍



会場風景